

のびゆく

長崎っ子

67

長崎市青少年育成連絡協議会だより

今号の内容です。ぜひ読んで下さい。

- ★琴海地区夏休み子ども講座の紹介
- ★長崎県で「全国子ども会中央会議」が開催されます。
- ★第33回広島・長崎子ども会親善交歓会

- ★キンボールって、なんだ!?
- ★うなぎに乾杯
- ★子どもゆめフェスティバル2009
- ★編集後記

つなげ人と心 地域の輪 子どもの出番を広げよう きらめく長崎の子どもたち



面白い顔

笑った顔

真剣な顔

一所懸命な顔

宝石のように輝く子どもたちの色々な顔 大切にしたい

たくましく育て・

きんかいっ子



琴海地区夏休み 子ども講座の 紹介



人は「生まれてきてよかった」「自分が生きていることには意味がある」と感じることができるとき、それは生活に充実感が満ちたものになります。このことは子どもたちにとっても同様です。子どもたちが自ら主体となり、調べる学習や体験活動に取り組み、自分の「いのち」は、かけがえのない大切なものと思う、他人の「いのち」も大切だと思う、自然の中で動植物の「いのち」も息づいていることを感じることで、「心豊かな、たくましいきんかいっ子」を育むことを目的に、夏休み子ども講座を開催しました。

講座としては、

- ① 「地域発見講座」 10回各10名で日頃見過ごしている地域の景色や文化、伝承遊びなどの探索や体験をすることで、自分たちを育ててくれる故郷の良さを学ぶこととして、地域の有志の方々のご協力を得ました。
- ② 「挑戦・体験講座」 10回各10名で「食育」を通して人とのつながり、命をいただく、作る人の思いを感じる、自分で作る、手伝うことの大切さを学ぶこととして、地域の食改善グループの皆さんのご指導を仰ぎました。
- ③ 「優しいことば講座」 10回各10名で何気ないことばに勇気や温かさをもらったり、あるいは他人の心を傷つけたりすることがあります。ことばの大切さについて学ぶことを目指して「絵てがみ」を中心教材としてことばの優しさ、思いやりを学びました。文化クラブの方々のご指導で実技体験を中心に活動しました。
また、仲間を力合わせた活動では波静かな大村湾をシーカヤック体験もしました。初めはおそろのおそろのパドルを出していましたが、慣れるにしたがって先をあらそってぐいぐい大海原に漕ぎ出していました。地域のシーカヤッククラブの方々にご指導を仰ぎました。楽しい夏休みだったのでないかと思います。
- ④ 「平和学習講座」 4回各10名（中学生）を中心に開催しました。ふだん何気なくすごしている自分たちがいかに平和な日々を手に入れているか、一方では紛争の中で苦しんでいる人々、原爆を体験した人々のいることを考え、平和の意味や尊さを学ぶことを目的に地域の原爆体験の方々のお話をうかがったり、原爆資料館の見学等を通して、市内の中学生との交流を図りました。
- ⑤ 「演劇講座」 10回各10名で命を大切に感じた場面、友達を思う場面を寸劇にしました。また、各グループの研究についてそれぞれの体験をまとめて発表しました。それぞれのグループで頑張った努力した成果を皆さんに見ていただきシンポジウムが無事に終了することが出来ました。夏休みを利用して充実した活動が出来、たのしい思い出が多く作れたのではないのでしょうか。

平成20年度外海公民館区育成連・琴海地区育成連会長 田城 敬之

たくましく育て・きんかいっ子

長崎県で「全国子ども会中央会議」が開催されます。

平成22年2月19日(金)～21日(日)の3日間、ランタンフェスティバルの開催と同時期に、長崎市民会館文化ホール・全日空ホテルグラバーヒルを主会場に、「全国子ども会中央会議」が開催されます。

長崎市青少年育成連絡協議会のメンバーは、大会実行委員として大忙しとなる予定です。「こんなに大きな大会が行われるのだから、絶対に成功させたい！長崎の良さも知って貰いたい！」と皆で一致団結しています。また、今回の中央会議では、小島中学校区育成協議会の方々が発表されるということも決まっておりますので、皆さんで応援しましょう。

しかし、その他の詳細はまだ決定はしていませんが、他県の活動を知るための貴重な時間であり、交流ができる数少ない機会でもありますので、今後詳細が決定次第、皆様にご案内致しますので、ご協力をお願いします。

